

第31回柳原銀行記念資料館特別展

2019年 **10月9日(水)～11月9日(土)**

午前10時～午後4時半【月・火・祝休館】

展示替休館日：10月4日(金)、5日(土)、6日(日)、11月10日(日)、13日(水)、14日(木)

さよなら崇仁小学校

君は伊東茂光の声を聴いたか

伊東茂光と音声レコード 1943 (昭和18) 年

記念シンポジウム

2019年 **10月19日(土)** 午後2時～4時半

場所：元崇仁小学校 体育館 (京都市下京区川端町16)

「同和教育の源流」と呼ばれた崇仁小学校の輝ける136年を紹介するとともに、伊東茂光校長の映像や音声吹き込まれたレコードを聴き、崇仁小学校校舎がなくなる今日に、何を市立芸大に伝えるか議論する。

1932 (昭和7) 年崇仁小学校大運動会映像と伊東茂光校長の音声上映

解説：山内 政夫 (柳原銀行記念資料館事務局長 / 世界人権問題研究センター嘱託研究員)

パネリスト：玉村 公二彦 (京都女子大学発達教育学部教授)

竹口 等 (京都文教大学名誉教授)

崇仁小学校校歌斉唱

歌唱：校歌部 (岸本 想太 [高瀬川音楽祭実行委員会])

参加費：無料

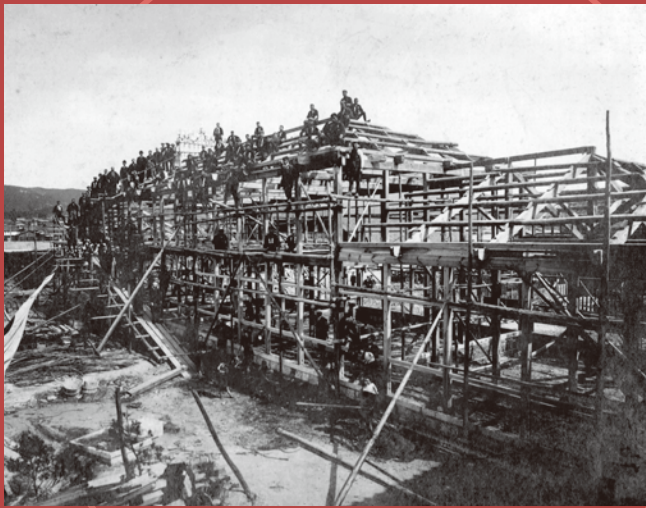
1932 (昭和7) 年 崇仁小学校大運動会映像より

崇仁小学校校舎 1931 (昭和6) 年



主催：京都市・NPO 法人崇仁まちづくりの会





柳原小学校上棟式 1911 (明治 44) 年



西光寺本堂前写真 (明治 30-40 年代。西光寺蔵。柳原小学校は西光寺内に校舎を仮設し開始された。)

さよなら崇仁小学校 ～君は伊東茂光の声を聴いたか～

いあこやう

柳原銀行記念資料館は、一九九七 (平成 9) 年の開館以来、崇仁小学校の前身である柳原小学校の設立や変遷の過程の調査研究に取り組んできました。二〇一〇 (平成 22) 年、崇仁小学校は、輝ける一三六年のあゆみを残し、閉校しました。

当館のある崇仁地区への京都市立芸術大学の移転に伴い、住民達が慣れ親しんだ崇仁小学校の校舎が、いよいよなくなります。

明治維新後、幕末の混乱の中で寂れてしまった京都の再建策として、人々が初めに取り組んだのは、教育でした。一八六九 (明治 2) 年、京都市内では産業振興や人材育成を目的に、六四校のいわゆる「番組小学校」が設立されました。二年後の一八七一年 (明治 4) 年には、京都府から崇仁地区のあった愛宕郡を含む府各郡に学校設立の告示が出されます。当時、「解放令」により身分制が廃止され、庄屋や年寄による支配から近代的な戸長制度へと変わる中、崇仁地区では大仏柳原庄 (鴨川を挟んだ七条通付近の東西) から独立した六条村、銭座跡村、大西組が「柳原庄村」となり、一八七三 (明治 6) 年に、崇仁小学校の前身である柳原小学校が創設されます。小学校建設は村民の寄付金によって多くがまかなわれたため、これにより自治が確立され、差別社会からの解放が志向されました。

有志によって設立された柳原銀行の初代頭取であり、柳原町の町長にもなった明石民蔵は、自主的な改善運動の担い手として連綿と続く住民の主体的経営に奔走し、同校をコミュニティの中心に置きました。

さらに、一九二〇 (大正 9) 年に同校の第十一代校長に就任した伊東茂光から始まる崇仁教育は、「同和教育の源流」と呼ばれ、その実践を通して、部落差別が歴史的につくられたものであることを明らかにし、住民を励ました。近年見つかった、一九四三 (昭和 18) 年に録音されたレコードには、伊東校長が当時の社会情勢の中で苦悩しながらも、差別と闘う叫びが収録されています。

伊東校長の熱意の声とともに、崇仁小学校の功績を後世に伝えていくことこそ、本特別展を開催する目的です。最後になりますが、今回の特別展の開催に当たりまして、多くの皆様に御協力・御支援いただきましたことに心より感謝申し上げます。



創設 130 周年を祝う人文字 2003 (平成 15) 年



静室 1932 (昭和 7) 年



撮影年不明 優勝旗、トロフィーを持ち、満面の笑みを浮かべ、歓声をあげる崇仁小学校の子ら

柳原銀行記念資料館

The Bank of Yanagihara Memorial Museum
京都市下京区下之町 6-3 <http://suujin.org/yanagihara/>

開館時間 10:00 - 16:30 [月・火・祝休館]
入館無料 TEL&FAX 075-371-0295

JRおよび地下鉄「京都」駅から徒歩約 8 分
京阪「七条」駅から徒歩約 10 分
市バス「塩小路高倉」下車すぐ

同じです あなたとわたしの 大切な
令和元年 9 月発行
京都市文化市民局共生社会推進室
京都市印刷物 第 314490 号



ピオーブづくり 2003 (平成 15) 年

伊東茂光校長時代のエピソード

1930 (昭和 5) 年 崇仁小学校が、大阪毎日新聞運動部に所属していた人見絹枝からコーチを受ける。
1931 (昭和 6) 年 崇仁校本館落成式。記念に大古孫樹を植え、校歌「我等の歌」をつくる。
1932 (昭和 7) 年 静室を作り、静座して伊東校長の講話を聴いた。10 月、全日本女子オリンピック大会学童の部 400m リレーで優勝。差別に負けないために始めた陸上競技の最初の到達点。以後、この大会が終わる 1934 (昭和 9) 年まで毎年日本一を達成。地元の熱心な応援もあり、崇仁小学校大運動会も開催される。